魚津市中期財政計画（概要版）　【令和８年10月策定】

１ 計画策定の目的

■少子高齢化の進行による社会保障関係費の増加や物価高騰による財政負担の増加が見込まれる。
■本庁舎をはじめとする公共施設の老朽化が進んでいることから、今後、その建替えなどに多額の費用が必要。

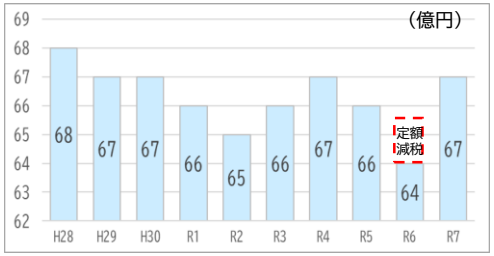
計画的な行財政運営に向けて「魚津市中期財政計画」を策定

２ 基本的な考え方

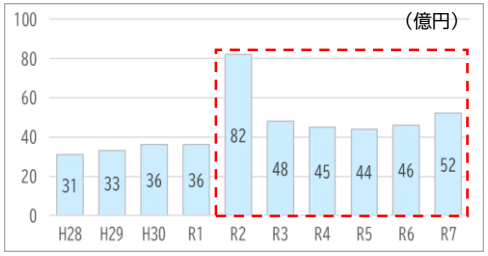
①計画期間
　令和９年度～令和13年度（５年間）
②計画の見直し
　今後の財政状況や新たな行政需要などを考慮し、毎年度見直し
③会計の単位
　財政見通しの会計単位は「一般会計」

３ 魚津市の財政状況

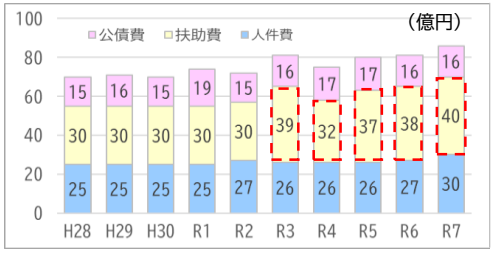
①市税の推移
　65～68億円前後で推移



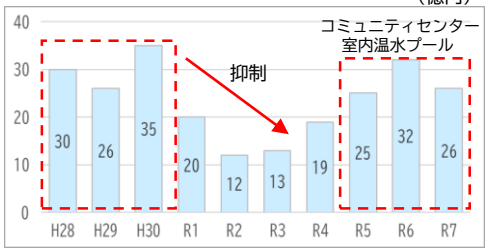
②国・県支出金の推移
　コロナ・物価高騰対策のためR2以降増加



③義務的経費の推移
　コロナ・物価高騰対策のため扶助費増加



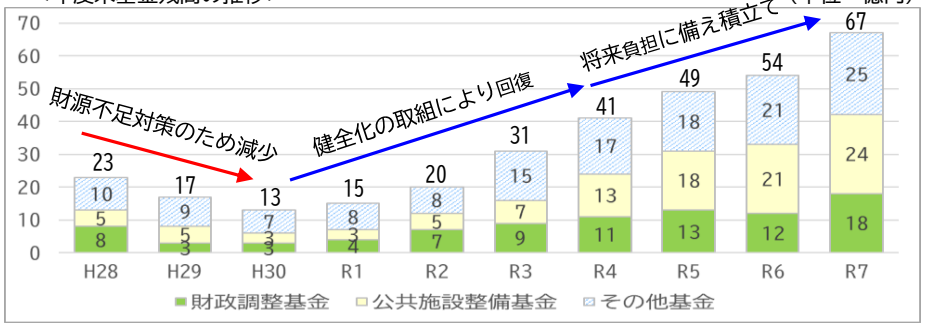
④投資的経費の推移
　室内温水プール整備等で増加



４ 基金の状況（H28～R7）

■平成28年度以降、財源不足を補填するため基金残高は急速に減少
■令和２年度以降、行財政改革に取り組んだ結果、基金残高は回復

＜年度末基金残高の推移＞　（単位：億円）



５ 財政収支見通し（R9～R13）

■物価や金利、人件費等の上昇により歳出は全般的に増加傾向
■コミュニティセンターや新庁舎などの大型施設整備による投資的経費の増加や市債発行の増加に伴う公債費（義務的経費）の増

＜一般会計 歳入・歳出の財政見通し＞　（単位：百万円）

歳入	R8当初	R9見込	R10見込	R11見込	R12見込	R13見込
市税	6,817	6,787	9,092	9,075	9,060	8,925
地方交付税	3,720	3,750	2,440	2,631	2,602	2,606
その他	10,699	10,149	12,863	13,784	9,694	8,349
歳入合計①	21,236	20,686	24,395	25,490	21,356	19,880
歳出	R8当初	R9見込	R10見込	R11見込	R12見込	R13見込
義務的経費	8,589	8,797	8,966	9,137	9,334	9,350
投資的経費	2,137	2,096	5,224	5,393	2,293	849
その他経費	10,510	10,199	10,117	10,737	9,873	10,027
歳出合計②	21,236	21,092	24,307	25,267	21,500	20,226
差額（①-②）	0	△ 406	88	223	△ 144	△ 346

６ 計画的な行財政運営に向けて（今後の取組）

■毎年の財源不足は、事務事業の見直しなど継続的な行財政改革の取組や国・県の補助金などの財源確保により解消を図る。
■財政調整基金は、安定的な行財政運営に向けて適正な残高を維持
■公共施設整備基金は、当面の目標額を上回っているが、今後の新庁舎整備に向け、更なる積立てを検討
■減債基金は、将来の公債費の増加に備え積み増しを検討